

ジャマイカ便り

第 21 号 7 月

2024 年度 青年海外協力隊 馬淵 萌子 青少年活動

ワグワーン！（調子はどう？）岐阜県のみなさん、こんにちは。JICA 青年海外協力隊 2024 年度 1 次隊、青少年活動で中南米のジャマイカに派遣中の馬淵萌子(まぶち もえこ)です。先日、生徒たちが卒業式を迎えました。私にとっても活動最後の出勤日となり、生徒たちに会うのもこの日が最後でした。帰国まではまだ 1 か月ほどあるため、あまり別れの実感はありませんでしたが、式の途中でこの 2 年間のさまざまな出来事が思い出され、よくここまで来られたなと懐かしさと達成感が込み上げてきました。任期を終える前に、生徒たちの卒業という大切な節目に立ち会えたことを、とても嬉しく思います。また、最後には私自身も表彰していただく機会があり、お世話になった皆さんへ感謝の気持ちを伝えることができました。そして今回は、活動を支えてくださった配属先のジャマイカ人の方々をご紹介します！

祝卒業



カウンセラーたち



カウンセラーの 2 人とは、同僚の中でも一番長い時間を一緒に過ごしました。イベントの企画や事務作業など、活動のさまざまな場面で協力し合いながら過ごした 2 年間でした。個性豊かな 2 人には驚かされることも多かったですが、年齢も近かったこともあり、仕事の合間には女子トークで盛り上がることもしばしば(笑)2 人とも海外で生活した経験があったため、お互いの経験について話す機会も多く、とても楽しい時間を過ごすことができました。「いつか日本に行きたい」と話してくれているので、その時には日本で再会できたら嬉しいなと思っています。

先生たち



先生方とは、同じ生徒を教える仲間として授業の悩みを相談したり、ジャマイカの文化や生活について教えていただいたりと、本当にたくさん支えていただきました。毎朝の「おはよう！」や「週末は何をしていたの？」といった何気ない会話がとても楽しく、慣れない環境で過ごす私にとって、大きな励みになっていました。最後には、1人ひとりへ折り紙で作った花束と日本のお菓子を贈り、これまでの感謝の気持ちを伝えることができました。

センター所長



センター所長は日本文化への興味や理解が深く、活動のさまざまな場面で支えてくださいました。どんなに忙しい中でも職員1人ひとりとの会話の時間を大切にしている姿が印象に残っています。活動面だけでなく、日頃から私の生活のことまで気にかけてくださり、本当にとても心強い存在でした。また、私の提案にただ賛成するだけではなく、時には率直な意見や的確なアドバイスをくださり、多くのことを学ばせていただきました。そのおかげで、活動をより良いものにすることができたと感じています。将来は日本で生活することが目標だそうなので、日本にいられた際には、今度は私が恩返しをしたいです！

最近、日本も本格的な夏を迎え、暑さが増してきたと聞きました。ジャマイカも同じように、日差しが一段と強くなり、暑い日が続いています。どうか皆さまも体調には十分お気をつけください。そして、いよいよジャマイカ便りも次回が最終号となります。今回も最後までお読みいただき、ありがとうございました。リックルモア！（またね！）